

学会への発表及び他誌への投稿等

● 著作（雑誌・機関誌における執筆等）

- 山本剛史・吉永葉月・三浦正之：日本における育種研究 低魚粉でも育つニジマスの作出. 養殖ビジネス臨時増刊号（よくわかる！ ジャパンサーモン養殖），2019.3, 83-86.
- 三浦正之：淡水魚の卵菌類に起因する真菌病の防除法に関する研究. 山梨科学アカデミー会報，2018.7, 28-37.

● 学会発表

- 高田優三・田口仰星・和田新平・倉田修・鈴木究真・芦澤晃彦：コンピューター断層撮影（CT）装置を使ったアユ胸腺体積の測定と成長に伴うアユ胸腺サイズの推移について. 平成31年度日本魚病学会春季大会（3月 東京）
- 笠木 聡・篠原龍哉・加藤奈々・三浦正之・岡崎 巧・水澤寛太・高橋明義：ニジマス脳下垂体ホルモン遺伝子発現に対する背地色の効果. 平成31年度日本水産学会春季大会（3月 東京）

● 依頼講演等

- 大浜秀規：山梨県の水環境 ～過去から様変わりする魚の生息環境～. 海の日環境フォーラム 2018—海なし県の“山梨”から海のごみを考える（7月 甲府市）
- 芦澤晃彦：山梨県の個体群管理. 平成30年度特定鳥獣（カワウ）の保護・管理に係る研修会（8月 東京）
- 小澤諒：山梨県におけるホトケドジョウの現状と保全対策. 山梨大学平成30年度山梨コア・サイエンス・ティーチャー（CST）養成事業（9月 忍野村）
- 三浦正之：富士の介の研究について. やまなし育水推進県民大会（9月 甲府市）
- 三浦正之：水産技術センター忍野支所の仕事. 忍野村立忍野中学校「職業講話」（9月 忍野村）
- 小澤諒：山梨県におけるホトケドジョウの現状と保全対策. 甲府南高校 SSH 事業「フロンティア探求 I 生物講座」（10月 忍野村）
- 小澤諒：忍野村にすむ魚たち. 忍野小学校「総合的な学習の時間」（11月 忍野村）
- 三浦正之：淡水魚の卵菌類に起因する真菌病の防除法に関する研究. 公益社団法人山梨科学アカデミー交流大会（11月 甲府市）
- 大浜秀規：山梨県の水産と水産技術センター. 山梨県立大学山梨学Ⅱ（12月 甲府市）
- 三浦正之：山梨県のサーモン養殖ブランド化戦略. シンポジウム 国内サーモン養殖による地域振興に向けた課題と展望 ～地域発サーモン養殖を支える研究開発の方向性～（1月 岩手）
- 芦澤晃彦：ミズワタクチビルケイソウが放流アユの定着に与える影響. 平成30年度群馬県農林水産業関係機関成果発表会（2月 群馬）

● 研究会等での発表

- 三浦正之：低魚粉飼料の利用性の高いニジマスの家系作出—F1 稚魚における制限給餌下での選抜効果の確認. 平成30年度全国養鱒技術協議会養殖技術部会（6月 東京）
- 三浦正之：山梨県の新たな養殖魚「富士の介」の遺伝子判別方法の検討. 第43回全国養鱒技術協議会（7月 長野）

- 芦澤晃彦：ミズワタクチビルケイソウが放流アユの定着に与える影響. 平成 30 年度全国湖沼河川養殖研究会アユ資源研究部会（2月 東京）
- 平塚 匡：山梨県の新たなブランド魚「富士の介」について. 県の新たなブランド魚「富士の介」の試食会（2月 甲府市）
- 平塚 匡：富士の介の肉質について. 平成 30 年度関東甲信越ブロックマス類養殖担当者研修会（3月 群馬）

● 試験研究成果発表会

平成31年3月20日 県漁連水産会館会議室

- 平塚 匡：新たな県産ブランド魚「富士の介」の肉質評価
- 小澤 諒：「富士の介」のIHNウイルスに対する感受性
- 加地弘一：ヨーロッパウナギによるクニマス卵の捕食実態
- 岡崎 巧：生物餌料給餌によるクニマス初期生残率の向上
- 青柳敏裕：西湖におけるクニマス資源の動向（話題提供）
- 加地弘一：西湖におけるクニマスの産卵生態の解明（話題提供）
- 小澤 諒：低魚粉飼料の有効性評価（話題提供）
- 名倉 盾：ワカサギ豊漁期の河口湖における動物プランクトン相（話題提供）